

『建築を学ぼう』 県立淡路高校編

- 実施校 県立淡路高校
- 講師 あわじ「建築を学ぼう」プロジェクトチーム 岡崎雅彦
- 日時 平成19年1月17日
- 対象 全校生から10名×2班
- 所要時間 50分

カリキュラムNo. 1

★実際の木造軸組を使って耐震体験。建築物の構造を知ってもらう建物を建てる体験。

木造の耐震性を直接体感してもらう目的で、筋交いが入っている時と入っていない時の実大模型を実際に建ててもらい、柱をゆすった時の違いを感じてもらいました。



土台から自分立ちの手で作成してもらいました。

仕口も、一般的な「腰掛けあり継ぎ」や、「腰掛けかま継ぎ」のほか、「隠し金輪継ぎ」のような、素人がぱっと見てどこで継いでいるのかわからない知恵の輪のような継ぎ手を作ってもらいヒントなどで、どうはすすか体験してもらいました。



土台と柱と筋交いを、ホールダウンアンカーと筋交い金物で、取り付けるパーツを4組用意して、生徒たち4人組になって全員が、作成してもらいました。まとめとして、各部材、金物を図面で説明しました。

カリキュラムNo.2

★学校建築Q&A

自分たちが通っている学校について、建築の法律「建築基準法」で守らなければならない箇所を事前に取材させていただき、写真に撮り、プロジェクターにて説明しました。

本校は、古い建物なので、現在付いている防災関係の説明を行いました。



★振動実験台E-デフェンス(兵庫県三木市)の実験ビデオを生徒たちに見てもらう。

実際の建物が振動実験台で地震を起こして実際の建物がどれだけの地震で倒れてしまうのか実験しているビデオを見てもらい、自分たちでできる地震対策を考えてもらう。

生徒さんに感想文を書いてもらいました。一部紹介します。

- 最近建物偽装がありましたけど、改めて大変な事だと思いました。
- 家に対する危険な部分などがわかってよかった。家具などの調整をしていかななくてはならないと思った。今日はいい勉強になった。
- テレビとかの実験でやっていたのより詳しく説明してもらったのですごくわかりやすかった。
- 古い建物ほど、補強が特に必要と思います。
- 私たちは、阪神淡路大震災という大きな地震を経験しました。
その時、家ってこんな風につぶれてしまうんだと思いました。
ビデオをみて、本当に大丈夫なのかと思う事もあったけど一度経験したので次は、もっと皆の役に立ったりできたらと思いました。
- 自分の家が、木造なので、少し不安になりました。実は、その家、大震災にたえた家で、大工さんによると、あまり壊れていないので大丈夫せしいです。今日聞いて思ったことは、「自分の家があんなふうには倒れないでほしいな」と思いました。
- 地震ってめっちゃこわいなあーとおもいました。今度淡路島に地震が来るのか不安です。
家もつぶれるちゃうかもしれない、自分が死んでしまうかもしれない。やっぱりすごく不安です。
年によって地震対策(建築基準法)が変わってきてるんだなあーと思いました。「昔建てた家より最近建った家の方が安全なんだ」と思いました。
淡路高校にも、色々な所にたくさんの避難器具がある事がわかりました。